

本日、我が麗澤瑞浪中学・高等学校の入学式を挙行いたしましたところ、ご多用の中、瑞浪市長 水野光二様をはじめ、ご来賓の皆様にご臨席を賜りましたこと、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

また、保護者の皆様、ご家族の皆様におかれましては、本校の教育にご理解とご信頼をいただき、大切なお子様をお預けいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

中学生52名、高校生112名の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ、麗澤での学校生活のスタートです。本校の中学校・高等学校の入学試験に合格した皆さんの入学を、私たち教職員、そして在校生一同、心より楽しみにしておりました。

これからの3年間、あるいは6年間、どうぞよろしくお願いします。

本校には、全国から、そして世界から、さまざまな背景や価値観を持つ仲間が集まっています。

とりわけ寮生活を含めたこの環境では、自らを「思い通りにいかない状況」にあえて置き、他者と深く関わりながら学んでいくことが求められます。

誰かとうまくいかないとき、意見が食い違ったとき、それを避けるのではなく、向き合って、考えて、語り合う。そんな時間の中でこそ、人は育ちます。

私たちは、学校を「社会の予備校」や「便利なサービス業」として捉えていません。

学校とは、自分の思い通りにいかないことを経験し、それをどう乗り越えていくかを学ぶ場所です。

この先の社会では、「異質な他者とうまく関係を取り結び、自分なりの役割を果たす力」が求められます。だからこそ、皆さんにはこの中学・高校の多感な時期に、異なる価値観や考え方に触れ、深く関わり合っ

てほしいと願っています。

「あなたは、あなたのままで素晴らしい。」

これは、本校の多様な環境の中で、皆さんに決して忘れてほしくない言葉です。

他人の「いいね」に自分の価値を委ねるのではなく、自分の心が「これが私らしい」と思える生き方を大切にしてください。他人と比べるのではなく、「昨日の自分」と比べて、一歩でも前に進めたか。

その小さな成長の積み重ねが、自信となり、個性となり、やがて皆さん自身の輝きとなっていきます。

皆さんがこれから過ごす学校生活・寮生活には、楽しいことだけでなく、悩んだり立ち止まったりする瞬間もあるでしょう。でもどうか安心してください。そんなときは、仲間や先輩、先生や保護者の方々が、必ず手を差し伸べてくれます。

失敗しても大丈夫です。大切なのは、立ち上がる力と、挑戦する勇気を持ち続けることです。

本校の「麗澤」という言葉は、中国の古典『易経』の一節に由来しています。

「並び合う沢が互いに潤し合い、周囲の草木を育てるように、志ある者は、よき師や友と共に学び合い、人格を高めていく」

という意味が込められています。

まさに、皆さんがこれから出会う仲間や先生方と共に、互いを高め合っていく時間が、ここから始まるのです。

私たち教職員は、師弟同学の心で、「教える」のみならず、「共に学ぶ」姿勢で、皆さんと関わってまいります。保護者の皆様には、親子共学の心で、お子様の成長を共に支え、見守っていただければ幸いです。

それでは、新入生の皆さんが、「誇りある麗澤瑞浪の生徒」として、それぞれの未来に向かって力強く歩み始められることを願い、私の式辞といたします。

本日は、ご入学、誠におめでとうございます。

令和7年4月7日 麗澤瑞浪中学・高等学校校長 藤田知則